



# 龍野北高校新聞

まちを支える人づくり スペシャルリストへの道  
地域との共生を図り、明るく活力のある学校

## 全日制課程



令和4年5月17日(火)発行  
第3号  
兵庫県立龍野北高等学校  
Tel 0791-75-2900  
Fax 0791-75-2296

# 歌で繋ぐ防災



『生きていくだけで、人の役に立ってほしい』と生徒たちが伝えた。6限目は、雁部さんが震災の体験を語った。宮城県東松島市で起こった、雁部さんがまだ小学生のときの話である。海からさほど近いとも言えない場所に建つ学校であったため、津波の心配などしていなかった。地震が起こったとき、雁部さんは体育館

5月11日(水)5・6限、シンガーソングライターのasarriさんと雁部さんを招いて、防災に関する講演を行った。5限目にasarriさんから災害の体験と、素晴らしい歌4曲を披露していただいた。asarriさんが会社に勤めていたとき、東日本大震災が起きた。曲作りができない環境下になるも、歌を通して防災と関わりたいという思いから「塩竈の体験を語った。地震が起きた直後、妙に落ち着いていたが、現実と認識するまでそんなに時間はかからなかった。外が騒がしかったからだ。避難所から必死の思いで自宅に帰ると、家族が迎えてくれた。『祖母が涙を流して迎えてくれた』と語った。生徒たちもasarriさんの想いに共感した。asarriさんは、『生きていくだけで、人の役に立ってほしい』と生徒たちに伝えた。6限目は、雁部さんが震災の体験を語った。宮城県東松島市で起こった、雁部さんがまだ小学生のときの話である。海からさほど近いとも言えない場所に建つ学校であったため、津波の心配などしていなかった。地震が起こったとき、雁部さんは体育館

## 一日一っ思い出を

授業をしてきた。下から突き上げるような地震が起こり、体が浮いた。その時はまだ地震だと思っていなかった。地鳴りとともに、縦揺れから横揺れに変わった。これは地震なんだと理解したらしい。地震後は余震が続く、雁部さんが津波を確認したのは学校の玄関先であった。最初に津波を確認したときは学校の水を撒いたくらいで、焦りなどなかった。しかし海とは違う方向、学校の反対側から音が鳴り響き、気が付くと水の壁が目の前にあった。大人が自分の目の前で手を伸ばしていたが、その大人も波にのまれていった。その行動に自責の念を感じながら、しばらく過ごしたらしい。『災害というのは、助かる人と助からない人が混在する間後に訪れる人と、歌であった。雁部さんは、どの地でも「未災地(未だ、災害が来ていない地域・未来に、災害が起こる可能性のある地域)」になる可能性がある」という。人々の記憶から無くなってしまう、未災地になるのだ。雁部さんは、未来に人を救うために語り部をしているのだという。来月の防災訓練は、自分のためだけでなく、大切な人の命を考へるために行つてほしいと伝えた。最後に生徒からの質問で、「災害について語るとき、トラウマ等はないか」の質問に対し、『トラウマはあるが、語り部をすることで辛いよりも救われる方が大きい』と答えた。そのほかに、医療従事者との関わりについて、DMAT(ディー・マット)に助けられたことを語った。いつ災害が起こってもおかしくない時代で私たちができることは、一日一つでも多くの思い出を作ることである。今回の講演を無駄にしないよう、日ごろの生活に生かした

授業をしてきた。下から突き上げるような地震が起こり、体が浮いた。その時はまだ地震だと思っていなかった。地鳴りとともに、縦揺れから横揺れに変わった。これは地震なんだと理解したらしい。地震後は余震が続く、雁部さんが津波を確認したのは学校の玄関先であった。最初に津波を確認したときは学校の水を撒いたくらいで、焦りなどなかった。しかし海とは違う方向、学校の反対側から音が鳴り響き、気が付くと水の壁が目の前にあった。大人が自分の目の前で手を伸ばしていたが、その大人も波にのまれていった。その行動に自責の念を感じながら、しばらく過ごしたらしい。『災害というのは、助かる人と助からない人が混在する間後に訪れる人と、歌であった。雁部さんは、どの地でも「未災地(未だ、災害が来ていない地域・未来に、災害が起こる可能性のある地域)」になる可能性がある」という。人々の記憶から無くなってしまう、未災地になるのだ。雁部さんは、未来に人を救うために語り部をしているのだという。来月の防災訓練は、自分のためだけでなく、大切な人の命を考へるために行つてほしいと伝えた。最後に生徒からの質問で、「災害について語るとき、トラウマ等はないか」の質問に対し、『トラウマはあるが、語り部をすることで辛いよりも救われる方が大きい』と答えた。そのほかに、医療従事者との関わりについて、DMAT(ディー・マット)に助けられたことを語った。いつ災害が起こってもおかしくない時代で私たちができることは、一日一つでも多くの思い出を作ることである。今回の講演を無駄にしないよう、日ごろの生活に生かした



# 宣誓式

5月13日(金)アセンブリホールにて、臨地実習に向けて決意を新たにすための「宣誓式」が行われた。宣誓式では、保護者に見守られながら14期生看護科40名が呼名された。この宣誓式は、1年生のころからクラス全員で話し合い、作り上げたものだ。フローレンス・ナイチンゲールの生誕が5月12日に因んで、毎年この時期に宣誓式を開いている。



はイギリス人の看護師で、野戦病院に運ばれてくる兵士たちを心身ともに看護したことで「クリミアの天使」と称された。また、夜中にはランプをもって負傷者に問題が無い夜回りをしていたことから「ランプの貴婦人」とも言われている。その灯をナイチンゲール像から分け与えられ、命と関わる者として責任を持ち、看護の道を歩んでいくことを誓った。

## 6月の行事予定

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 3日(金)  | 地域拠点型合同防災訓練             |
| 6日(火)  | 基礎看護実習Ⅲ(N3年)10日間        |
| 7日(水)  | 先輩に聞く会(E・1・4限)          |
| 8日(木)  | 現場見学(D)                 |
| 11日(日) | 現場見学(C3年)               |
| 13日(火) | 進路ガイダンス(2年・5・6限)        |
| 18日(日) | 現場見学(D)                 |
| 21日(水) | 介護実習(W2・3)10日間          |
| 24日(土) | ファッションショー皮革プレゼンテーション(D) |
| 25日(日) | 建設業界セミナー(C3年)           |
| 26日(月) | 建設業界セミナー(C3年)           |
| 29日(木) | 計算技術検定                  |
| 30日(金) | 老年看護実習Ⅰ(N2年)            |
| 1日(土)  | ビジネス計算実務検定試験            |
| 2日(日)  | 簿記検定                    |
| 4日(火)  | 第1回龍北祭実行委員会             |
| 5日(水)  | 生徒会立会演説会 全校集会           |
- ※変更等はHP・はなまる連絡帳等で随時連絡します。

## 定時制課程

### 部活動紹介

4月13日(水)アセンブリホールにて、部活動紹介が行われた。各部活動、龍北工房から活動内容や特色の説明が行われた。パワーポイントを使用したリアルタイムの演説や熱心に魅力をアピールしたりと、1年生だけでなく2・3・4年生も希望する部活動に入学し、充実した学校生活を送ってほしい。

### 薬物乱用防止講演会

4月20日(水)アセンブリホールにて、薬物乱用防止講演会が行われた。講師には、兵庫県警察本部職員 姫路南少年サポートセンター 齊藤 隆一様をお招きした。今や薬物はインターネットでも簡単に手に入る世の中になってきている。講演を聞いて「薬物には絶対に手を出さない」「知らない人の誘いに乗らない」といった意見が多かった。

## 6月の行事予定

- |        |               |
|--------|---------------|
| 6日(火)  | 教育相談          |
| 7日(水)  | 眼科検診          |
| 16日(木) | 校内生活体験発表会リハール |
| 17日(金) | 校内生活体験発表会     |
| 18日(土) | 龍北工房          |
| 22日(水) | 全商ビジネス計算実務検定  |
| 24日(金) | 全商ビジネス計算実務検定  |
| 25日(土) | 龍北工房          |
| 26日(日) | 全商簿記実務検定      |